

渡辺克巳

写真展

「世の中に悪い人はいません。悲しい人がいるだけです」
盛岡で生まれ 新宿を撮り続けた、流しの写真屋

新宿

〈1965-1979〉

2025 10/1 水 - 11/3 月・祝

9:00-19:00 (最終入場 18:30)

※10/28(火)は休館日

会場

もりおか町家物語館

大正蔵 2 階 時空の展示室

〒020-0827 岩手県盛岡市鉤屋町10-8

Tel: 019-654-2911

料金

前売 一般 600円 中学・高校生 300円

当日 一般 700円 中学・高校生 400円

※小学生以下無料、本チケットで1階カフェ ジェラート 100円割引

前売り券取り扱いプレイガイド

もりおか町家物語館 もりおか啄木・賢治青春館

欲望のスタジアム、大いなる荒野『新宿』の
アクチュアリティを写し切った写真家は、
ただひとり、
渡辺克巳である。

森山大道

〈トークショー〉 於 浜藤ホール
「渡辺克巳の写真と素顔」

10/4 (土) 14:00-16:30

小泉悦子 (渡辺克巳 夫人)

大坪正己 (ハッピースタジオ 共同経営者)

他にもゲストをお呼びする予定です

※終了後 懇親パーティーを開催します

〈渡辺克巳写真集〉
「新宿、インド、新宿」

大正蔵 1 階にて販売中 定価 3,200円 + 税

※クラウドファンディングからも購入できます
(裏面参照ください)



共催 盛岡市

主催 NPO法人
いわてアートサポートセンター

渡辺克巳写真展実行委員会

岩手県内初公開

《 盛岡で生まれ 新宿を撮り続けた、流しの写真屋 》

渡辺克巳 写真展

新宿

〈1965-1979〉

54作品 岩手県内初公開

渡辺克巳は1961年岩手県立盛岡第一高等学校を卒業。翌年写真家を目指して上京するや、怪しげな街の誘いに惹きこまれていく。日本中から集まった人間の垣根「新宿」。その夜の姿を每晚追いつける「流しの写真屋」人生が始まる。1ポーズ3枚200円。レンズの向こうの刺青のヤクザや、愁いを秘めた表情のゲイ、優しく微笑むヌード嬢たちのここの決め姿をフィルムに収めては、深夜に現像焼付けを済ませ、翌日 手札版写真を渡し歩く。その渡辺克巳の作品が、彼の生まれ故郷「岩手・盛岡」で初めて公開の運びとなった。本人が焼いたオリジナル銀塩プリント54点に加え、希少な写真集、使用したカメラ、渡せなかったプリント、仕事として撮影したAERA等の雑誌、貴重なインタビュー動画など、渡辺克巳のパーソナリティーを感じられる展示となっている。

「世の中に悪い人はいません。悲しい人がいるだけです」

生前、渡辺克巳が息子に遺したこの言葉を心の片隅に置きながら、渡辺克巳の写真を 目に 心に 焼き付けておきたい。



1973年、焼き芋屋時代の渡辺克巳(撮影・吉村光男)

【渡辺克巳 プロフィール】

- 1941年 岩手県盛岡市生まれ。八幡町で生まれ育つ。
中学校卒業後、毎日新聞盛岡支局で補助員として勤務し、写真の面白さに目覚める。
- 1962年 上京し、東條会館でスタジオ撮影を学んだ後、「流しの写真屋」として活動を始める。
- 1973年 『カメラ毎日』6月号に発表した「新宿・歌舞伎町」が話題を呼び、同誌のアルバム賞を受賞。
その後も新宿を拠点に撮影を続ける傍ら、焼き芋屋や写真館経営などを経て、「週刊文春」や「AERA」などで週刊誌カメラマンとして活躍した。
- 1998年 写真集『新宿1965-97』により日本写真協会年度賞を受賞。
- 2006年 1月29日、肺炎のため64歳で逝去。同年11月、ニューヨークのアンドリュウ・ロス・ギャラリーで回顧展が開催された。
彼の作品は、サンフランシスコ近代美術館などアメリカの4つの美術館に収蔵されているほか、日本では東京都写真美術館、東京国立近代美術館に収蔵されている。

岩手の県民性、やっぱり啄木、賢治を結局ちゃんと評価できなかった歴史があったのに、本当に秋浜さんのような方を、亡くなってからこういうかたちで逆に評価しなくてはならないということは残念だと思います。
同じように、カメラマンで渡辺克巳さんという、1960年代に新宿の夜の町をずっと撮り続けて、それで物すごい写真界に衝撃、影響力を与えている人がいるわけです。その人も盛岡の出身です。
でも写真に興味を持っている人たちは知っているけれども、一般の人はほとんど知らない。
今本当に岩手に必要とされているのは、才能ある人間たちをきちんと 評価して紹介していく人材です。
演劇関係者の人たちが秋浜悟史さんを 岩手の人たちにもっと知ってもらいたいと思ったように、ほかの分野でもこの動きが広がっていったら、岩手の子供や若者たちが どんなに励まされることだろうかといい気持ちで一杯です。

もりおか町家物語館 名誉館長 高橋克彦
秋浜悟史 追悼座談会にて

渡辺克巳写真展 クラウドファンディング

「渡辺の故郷 岩手・盛岡で写真展を開催したい」
新宿ゴールデン街で、小泉悦子氏からこの長年の夢を聞いた時からプロジェクトは始まりました。
渡辺克巳の活動拠点は東京であり、岩手でその活躍を知る人はほんの一部でしたが、強く共感して頂ける皆さんとの出会いで、盛岡での写真展開催の運びとなりました。
有志による手作りイベントですが着々と準備進行中です。
皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。



& CAMPFIRE

クラウドファンディング公開中

渡辺克巳 オフィシャル Website



寺山 修司

渡辺克巳写真展 実行委員会 (五十音順)

阿部 正樹 (元IBC岩手放送 代表取締役会長)
井手 清和 (岩手県写真連盟 会長)
鎌田 英樹 (IBC岩手放送 代表取締役会長)
川村 公司 (岩手日報社 代表取締役社長)
紀 章 (元モーターサイクルデザイナー)
小泉 悦子 (渡辺克巳夫人 作品、著作権管理)
坂田 裕一 (NPO法人いわてアートサポートセンター 理事長)

柴田 和子 (一般社団法人岩手県芸術文化協会 会長)
中村 一郎 (岩手県立盛岡第一高等学校 白壁同窓会 会長)
藤澤 貢 (フリーランスカメラマン)
松本 伸 (岩手県広告写真家協会 会長)
松本 静毅 (カメラのキクヤ 代表取締役)
盛合 なおと (もりおか町家物語館 館長)
谷村 邦久 (盛岡商工会議所 会頭)